
上海万博がもたらすもの

岡山県上海事務所 専任スタッフ 馬小琳

上海万博が開幕

2001年5月、中国上海市は、改革開放30年の成果を世界に示し、更なる開放を進めようと、発展途上国としては初めて、万博開催地として立候補を行い、2002年12月、第132回博覧会国際事務局総会において、上海市での開催が決定されました。

そして、立候補から9年後の去る5月1日、上海万博（2010年上海国際博覧会）は、246もの国や国際機関の参加を得て、上海の人々が期待を込めて秒読みを行う中、盛大に開幕しました。

万博は単なる産業の紹介の場に留まらず、各国が科学技術、文化等各方面の成果や将来の発展方向性をPRする場でもあります。万博は開催国の社会経済の発展に多大な影響を与え、また、国家間の交流と協力を促進します。

上海万博がもたらすもの

中国政府は万博の開催を契機に大規模プロジェクトを実施しましたが、これらは上海の生活や経済に大きな影響をもたらしました。

1 都市インフラ整備と生活環境の改善

「Better City, Better Life（より良い都市、より良い生活）」というテーマは、将来の都市環境においてより良い生活を望む、人類共通の願いを表現しています。万博の開催は、上海の経済、科学技術、文化の発展にとって、重要な出来事であるだけでなく、上海市の交通インフラ

の整備を促進するとともに生活環境を改善し、また、上海市民に、その素養を向上させる機会を提供しました。市民の素養は都市の発展にとって重要な要件であり、上海市では積極的に取り組まれています。

2 ハイテク産業の発展と人材集積

万博は上海のハイテク産業に千載一遇のチャンスをもたらします。会場の建設、通信インフラの整備、都市交通の充実及び環境の保護はハイテク技術と切り離せません。例えば、節水技術、環境保護技術、デジタル通信技術等が、万博建設プロジェクトを通じて発展しました。科学技術の交流を通じた中国ハイテク産業の発展や、人材の集積の促進も期待されています。

3 旅行業の発展

6ヶ月という長期間開催される万博は、世界中の注目を集めます。国内外から訪れた多くの観光客は、万博見学だけでなく観光地巡りも行うため、上海の旅行業にまたとないチャンスを与えます。主催者は、過去最大だった大阪万博の来場者数（6400万人）を上回る約7000万人の来場を見込んでおり、その消費は、上海のGDPに5%の増加をもたらすと言われていています。入場チケット、飲食、旅行記念品などの直接収入は110億元（約1650億円（1元=15円で換算））に、交通、宿泊など間接収入は800億元（約1兆2000億円）に達し、更に、多くの就労機会がもたらされると期待されています。この他にも、浦東空港と虹橋空港の二大空港の拡張整備により、併せて年間1億人を超える乗客の受入が可能となりました。

4 長江デルタ地域間の経済融合作用

万博の開催を通じて、長江デルタ地域間の経済の一体化が促進され、中国経済の面的な発展が大いに促進されます。

5 深まる交流

インフラや施設が残されるだけでなく、万博の開催期間中に生まれた、企業経営者、ビジネスマンや専門家の交流や、文化面の交流の多くは、万博が終了した後も続いて行くことでしょう。これは上海だけではなく、中国全体に重要なことです。

開催効果を活かして

万博という国際舞台を通して、中国人が世界の国々への関心を高めるのと同時に、世界中の人々が中国に対する見識を深めることとなります。今年の世界経済金融危機克服の最終段階と言われています。上海万博が世界経済の回復にどの程度貢献するのかはっきりとは分かりませんが、この時期に開催されることは、象徴的であり、世界の人々は中国市場に世界経済回復の希望を見たのではないのでしょうか。「Better City, Better Life」というテーマの下、改革開放政策が堅持され、中国で調和の取れた社会が実現することを固く信じています。

(2010年6月)



9月10日(金)「岡山 DAY」が開催される日本産業館